愛板
愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

厚生委員会

福利厚生の充実にお力添えを

愛県板厚生委員会は、去る8月19日PM15時より、3階会議室にて開催した。

今回は全板国保中板協の担当理事として本部へ出席されている斉藤副理事長（アドバイザー）並びに吉田専務理事の両氏のご出席を頂き開催した。審議に当たっては次の諸問題を重点的に検討課題として、討議に入った。

一、全板国保の最近の状況報告

一、全国板金業者国民年金基金への加入促進

一、その他各種福利厚生制度の推進の方策について

先ず全板国保の概況説明を頂き、被保険者の国営国保への異動などを含め、全体的には二〇〇〇人余りの減少となり保険財政に多少とも支障が生じたとの事で、しかし全体的観点から今回の改正で、被保険者負担の割合が一割から二割に上昇した事で医療費の支出額が予定より減少したとの事、何か矛盾に思えてならない。しかし老人医療費に於いては依然として高額な支払いが求められ、今後の経過が懸念されよう。

以前から制度化されている高額療養費について、貸付制度が普及されている事は周知の通りだが、今期からは融資額は五万円から一万円に緩和され、大いに利用される事を奨励したい。更にスポーツ振興の一環として、講演会並びに各種スポーツ大会を開催する事によって健康増進への扶助になれば、全板国保より助成金が受けられるとの事で今後の検討課題となろう。

次に全国板金業国民年金基金（職能型）に関しての討議、先の適用除外申請の法制化、並びに六〇才到達者などの資格喪失により、約六〇〇人の減少となり、追加加入の割当が当県にも波及し、県板としては苦肉の策として、是非とも各々の支部長に理解して頂き、加入者を募る方策を委員会で決議したところで、更なる協賛をお願いしたいところです。ご理解の程を！

さて、その他の福利厚生制度について、更なる討議を重ね、検討課題となった。

先ず、特別加入の労災被保険者の事故が、急激に多発し事故処理に際し、所轄労働基準監督署より強硬なご指示を受け困惑している現状との談、これらの行為は自由不断な行動に問題があると言えよう。元請又は工務店で開催する講習会に、積極的に参加する事も一つの方策とも言える。「過信」は絶対に避けるべきで、慎重な行動を望みたい。更に労災保険の申込をされ、保険料の未納者も存在し、労災保険の本来の目的に支障を来たしているとの情報。県板事務局として取扱いに苦慮しているとの談。常識ある対処を望むところです。（国から補助が出なくなる。）

次に共済制度の適用は歴史が古く、深くご理解を頂き継続加入をお願いしているところですが、時代の変遷により当初より加入者の減少や、後継者の減少などにより、激減している現状ではあるが、地域に於いては加入率五〇%以下の支部も存在し、組合員が平等の立場でメリットを分かち合うには、総べての組合員が加入する事に意義があると思いますので、尚一層のご理解とご協力の程を！

一方では無災害を継続する事によって掛金の一部が、組合及び支部に還元され、合理的な資金源となり、共存共栄の立場から是非共、再検討を頂き、健全な運用に試みたいと願うものです。

その他としてスーパーガン保険も取り扱っており、地域によっては順調な推移を、との報告を受けておりますが、最近の疾病にての死亡率は「ガン」が大多数をしめるとの事、希望者は県板事務局へご一報の程を。以上の如く更なる飛躍を求め厚生委員会の報告と致します。（沼澤）

ゆとりのゴールド年金プラン

年金300万円

（例えば）

〈国民年金〉夫婦とも20歳から60歳まで納付（40年間）
〈国民年金基金〉夫婦とも25.0歳から60歳まで加入（35年間）
} の場合

※基金は夫A型4口、妻A型4口加入

掛金は全額社会保険料控除になり、税金がかる～くなります。

受けられる年金（月額）

二人分の掛金（一カ月）		夫		妻	
26,600円	国民年金から ▶	約6.5万円	＋	約6.5万円	65歳から（終身）夫婦合わせて
18,360円	基　金から ▶	6 万円	＋	6 万円	
44,960円	合　計	約12.5万円＋約12.5万円		＝	約月25万円

基金からは2ヶ月ごとに支払
年6回となる

国民年金も口座振替が便利です。

池田商店海外旅行同好会
オーストラリア紀行(1)

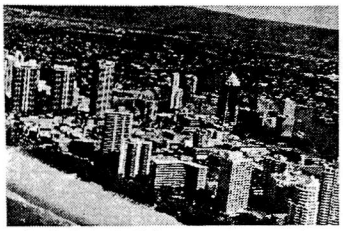
七月の初め、池田商店海外旅行同好会一行を乗せたカンタス・オーストラリア航空機は午後八時夕闇の名古屋空港を飛び立った。同好会二回目の今回は十六人が参加、ブリスベン・ゴールドコースト・シドニー周遊六日間である。

安定飛行に入った所でドリンクサービスと夕食、昨今どこの飛行機に搭乗しても、ビール・ワイン・ジュースなど好みの飲み物が好きなだけ飲めるのは嬉しいが、カンタスの客室乗務員は男性が主で少々色気ない。夕食後映画「タイタニック号」が上映されたが私はガラガラの客席四人分を独占してぐっすりおやすみ。今回は往復とも空席が目立ち長時間飛行には大助かり。

約七時間のフライトで早朝四時ケアンズ空港に到着。ここでカンタス国内線に乗換え午前八時ブリスベン空港に降り立つ。ＪＴＢの現地日本人ガイドＡさんからブリスベン市内の説明を聞きながらバスは市内唯一の丘陵地マウントクーサへ。展望台からブリスベン市内が三六〇度見渡せる。続いてローンパインコアラ保護区を観光。コアラを抱かせて貰ってインスタント写真を撮ってくれる。一人約八百円。この収益やコアラ募金は野生のコアラの保護管理に当てられる。ここには一二〇匹のコアラが飼育され観光客を楽しませている。またカンガルーが放し飼いにされ、観光客から手渡しで餌を貰う人懐こい愛嬌のあるしぐさが面白い。日・豪、親善？の一こま。

オーストラリアはマリンスポーツが盛んな国から自然のままの入江にはヨットやモーターボートの基地がよく整備され豪華な船が無数に繋留してある。昼食後ゴールドコーストに移動する。街の中心はサーファーズ・パラダイスと呼ばれ、リゾートの街らしく豪華な高層ホテルが林立し、レストラン、ファーストフード、土産物店、高級ブランド等が軒を連ねる。しかしここの最大の売り物は延々四十㎞から続く海岸線と金の砂、ゴールドコーストの地名通り素晴らしい。この国は今が真冬のため人出もまばらだが真夏の二月頃は街も海岸も人でごったがえす超人気のビーチ・リゾートである。数年前に来た事があるこの地を再び訪れ土産物店やホテルの地下のスーパーマーケット、海外通り、飲み屋など懐かしく思い出した。翌日郊外のカランビン野鳥園に朝の餌付けを見に行った。鮮やかな黄緑と赤色のインコの一種レインボー・ロリキートが放し飼いにされ、一日二回の餌付けを観光客もお手伝い。アルミの皿に濃いミルク状の餌を入れて貰って目の高さに持ち上げると、どこかで見ていた鳥が一斉に皿の回りに止って一気に食べる。凄い数の鳥だから迫力満点。中には肩に頭に腕に止られてキャーキャーワァーワァー、鳥の鳴き声ギャーギャーも混ざって大パニック。広い園内をミニＳＬに乗ってコアラやウオンバットを見て童心に帰るひととき。次は海をテーマにした公園シー・ワールドに遊ぶ。イルカやアシカのショー、スリル満点水上スキーショーは大盛況で見応え十分。ジェットコースターなど遊園地にある乗り物すべて乗り放題。園内には有料の観光ヘリコプターもあり人気上々。今回はゴールド・コーストの上空散歩と洒落込んだ。白く光る海岸線、入り組んだ入江を白い尾をひいて行き交う船、緑の中にきっちり区画された住宅街、天に突き上げ偉容を誇るホテル群、澄み切った青い空と海、見事な自然との調和に感動した。ホテルに帰り土産物店が並ぶ繁華街をぶらつく。日本人店員が盛んに声をかけて来る。衣類に敷物、カンガルーの革製品、オパールの装飾品など、店員との駆け引きも旅の楽しみの一つ。菓子類はスーパーの方が安く半値以下。ゴールド・コースト最後の夜は、ドイツ・ビヤホール風レストランでオージービーフと大ジョッキの生ビール。全員大いに飲んで食べて喋って和気合いあい。夜は更けると共にネオンの輝きが増して眠りを忘れる。

斉藤



▶上空から見たコールドコースト
立林するホテルと町並

▶野鳥に餌付けする一行

親子工作教室
「一日職人になろう」

碧南建設高等職業訓練校（建築科・建築板金科）は碧南市共同職業訓練所にて訓練を実施しているが、当訓練所は毎年8月に親子工作教室を開催している。

この親子工作教室は碧南市、西尾市、一色町、吉良町、及び幡豆町の小学生とその父兄が、親と子のふれあいをとおして「もの」を作り上げる楽しさを経験するなかで、職業訓練に対する認識を高める目的で開催される。主催は碧南市、碧南木型工業会、碧南訓練校である。

本年は8月9日（日）の午後に開催され30組の親子が参加した。工作は次の内から一つを参加者が選択し、講師・指導員の指導を受けて製作した。

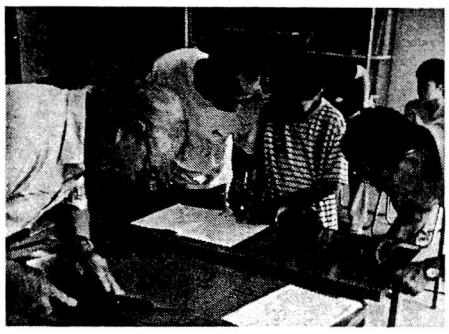
本立て　（木工）
浴室用こしかけ　（木工）
押入れすのこ　（木工）
フラワースタンドＡ（木型）
フラワースタンドＢ（木型）
ちり取り　（板金）
銅板表札　（板金）

このうち板金のちり取りには1組、銅板表札には3組の親子が参加し、3名の指導員が当った。

ちり取りの製作は一般の人には初体験の作業がほとんどで、指導員が付きっきりで製作し、そのかいあって親子がそれぞれ一つづつ作品を完成させた。

銅板表札は前もって木札に銅板を巻いてあるので、参加者はただ文字以外の部分をクギで打つだけの単純な作業であるが、手間がかかり、根気のいる作業である。しかし親子で一枚の表札なので、親子が替わるがわるクギを打ち、正味2時間30分の間に3組の親子とも表札を仕上げることができた。

高橋



▶チリ取りの作製

▼新問屋シリーズ▲

愛知県亜鉛鉄板問屋会
会員会社紹介
第二十回　丸中商事株式会社

▶取締役　加藤龍二氏

三十五年くらい前までは樋と言えばほとんど半田付けでつないでいたが、塩ビ雨樋が発売されてからは半田付けの必要がなくなった、また着色亜鉛鉄板が多く使用されるようになり、まだ今ほど接着剤やシーリング材が良い製品がなく、半田付け部分は塗装を剥離材でふき取って半田付けをしていた。

しかし、最近は半田付けをほとんどすることがなくなったと言って良い。第十七回でも、リベットを扱っている会社を紹介したように接着方法が様変わりした。

今回は半田の製造販売から創業された丸中商事株式会社を紹介する。

丸中商事㈱は以前開かずの踏切と言われた黄金踏切近鉄黄金駅の北で、昭和十四年、加藤謹爾氏が半田錫の製造販売を業務として「明治商会」を創業した。開かずの踏切りは1965年（S40）十月に陸橋が完成、名古屋第一環状線の要衝になっている。丸中商事㈱は現在その黄金陸橋を西へ下りた南側に本社があり、また加工工場を昭和五十九年に名古屋西インターの下に建設、現在では共に名古屋の西部、名古屋高速の烏森出入り口と、千音寺出入り口の恵まれた場所にあり、名古屋市を中心とした板金業者に建築資材を供給している。

丸中商事は創業以来、建築板金業界の発展と進歩に貢献することを経営理念の基本として、販売・加工技術の向上を課題に、会社の存続と発展と地域社会への貢献を常に考えた姿勢を維持していくと言われた。

以下に、会社の概要を紹介する。

商　号　丸中商事株式会社
創　業　昭和十四年
創業地　名古屋市中村区
総業者　加藤謹爾
会社設立　昭和三十五年四月三十日
本社所在地　名古屋市中村区畑江通り七―三十二
電　話　〇五二―四八一―九二一一
FAX〇五二―四八二―〇五五五
代表取締役　加藤龍二
　昭和十五年十二月二十八日生
資本金　二千万円
加工工場所在地　名古屋市中川区吉津一丁目二〇一
従業員　男子　十四名
　女子　五名
　合計　十九名
営業品目　カラー鉄板、ステンレス鋼板、アルミニウム、塩ビ雨樋、塩ビ浪板、塩ビパイプ、バルコニー等
営業範囲　東海地域内、種として名古屋市を中心とした板金業者及び建築業者
会社のモットー　建築分野で必要不可欠となった「金属建材」をメーカーと協力してユーザーに満足いただける商品を提供し続けていく

以上　鷲見

▲本社社屋

商品説明会

八月十九日午後六時半より西尾の平安殿において、株式会社田中屋主催による「松下電工商品説明会」が行なわれました。田中屋さんと取引のある板金業者五一名が参加しました。

松下電工による雨樋、カラーベスト、サイディング、アルミ金属サイディングなどの商品の商会と説明、田中屋さんの自社の商品説明がありました。パンフレットもいただき取扱商品の参考になりました。

また松下電工さんの説明による建設業、板金業の将来の展望について、新築着工戸数は今年百三〇万戸、十年後は百万戸、十五年後は七十～八十万戸と減少する予測があるそうです。新築着工数減少の原因は、出生率の低下（夫婦一組あたり平均一、三九名）、金融危機、企業の国際化による三〇代の社員（持ち家購買層）の海外出張、貸家や賃貸マンションの空き部屋率の上昇が考えられます。三井ハウス、積水ハウス、ミサワホーム等のハウスメーカーはリフォーム部門の新設、強化や、リフォーム専用の職人（総合的な技術を持った人）の育成を考えているそうです。一九九七年度のリフォーム市場は建築全体の二五％の五兆七千億円、それが二〇〇五年では五〇％弱の十兆円を超える金額になるそうです。

これからの建設業、板金業が生き残るには、一番目として総合的な技術を持つ事、二番目として営業力。時代と共に技術は陳腐化するが、営業経験、知識はそうは古くさくなりません。（営業に関係して松下電工さんにはNATEX、CADがあって、見積の相談に乗るそうです。）三番目には責任施工の問題です。これは組合においても提案されている所です。最後に、時代の流れに従って板金業の名や屋号の名を変えてみるのも一つの方法であると言われました。

西尾　大橋

▶商品説明会

インターネットに
愛知県板金工業組合ホームページ開設
● 毎月第一週
アドレス
http://member.nifty.ne.jp/JR2JZK/index.html

支部だより

夏の海浜を利用しての家族交流会催す！

「家庭円満の秘訣は家族へのサービス」

知多板青年部は、会員相互の親睦を密にするため、去る８月23日㈰、内海海水浴場（東浜）にて、現場集合を試み大人及び子供を交えて、約70人余りの大勢の参加者で賑わった。先づインストラクターの指示、指導を仰ぎ、なれないライフジャケットの着用、マリンジェット、バナナボートなどに乗って爽快なマリンスポーツを満喫した、子供達の笑顔が目に映り、遊泳にも自信があるかの如く子供達の満足度はかくせない。事前にご婦人達の配慮により、バーベキューの舌鼓、新鮮な魚貝類など盛多くの味々、男性達も家族サービスに余念がなく、汗ダクダク。一方では子供達が楽しみにしている、宝さがしや、西瓜割りなども催し、夏ならではのレクリエーションを味わう、参加者の笑顔が瞼に映る光景が今一度再現したいと思う心境である。これらの催しに当っては、取引先の問屋様方の暖かい支援に感謝を申し上げたい。参加者の要望に答え来期の再開を約して散会となり一生の思い出となった。

沼澤

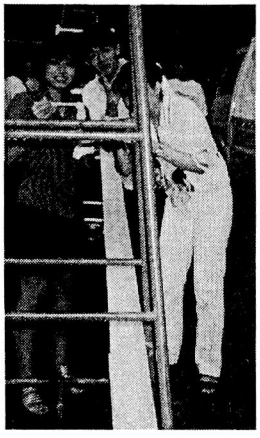
刈谷板金組合青年部

流しそうめん＆バーベQ（キュウ）

刈谷板金組合青年部では、日頃使っている雨樋を、広く一般の人にも、もっと親しみを持ってもらうため、雨樋を利用して流しそうめん会を実施しました。開催日は、七月十二日㈰、㈱ミックさんの御協力により、敷地の一部を提供していただき、又㈱コウトク金属さんから、恵主任の派遣と雨樋を提供してもらい、約五時間盛大に実施することが出来ました。

雨樋一・五を接着剤なしでバッチンにて五本を繋げ、揖保の糸をはじめ、全国有名そうめんやそばを、フルーツと一緒に流しはじめ、三十七名の参加者が、「こないぞ。」とか「ワァ！すごいや、きたきた。」と声を上げながら、雨樋に流れるそうめんをつついて楽しみました。又同時にバーベQも開き、途中、空手ショー等のアトラクションもあり、「ワキアイアイ。」とした雰囲気で、雨樋への関心を高めてもらう一日が終りました。

刈谷　望月克治



▶雨樋を利用した流しそうめん

8月各支部の動き

名古屋板金連合会
9日　支部長会　組合員名簿配布・職人展について　11名

昭和支部
10日　支部例会　懇親旅行について　9名

熱田南支部
22日　定例会

津島支部
5日　定例会　9名

春日井支部
8日　定例会・バーベキュー大会　20名
24日　役員会　5名

江南支部
21日　支部役員会　5名

一宮支部
6日　青年部定例会

西三板金連合会
25日　三役会議　6名

豊田支部
8日　第5回役員・班長会
26日　支部三役会

刈谷支部
3日　役員会　保証制度講習について　12名

知多支部
7日　理事役員合同会議　25名

東三支部
3日　定例会　24名
5日　青年部定例会　9名
23日　青年部親睦会　15名
25日　三役会　6名

労働保険　確かな心　ゆとりの心

―労働者を一人でも雇用する事業主のみなさんは、労働保険（労災保険・雇用保険）に加入しなければなりません―

＊労働保険は、労働者の方々が不慮の業務上災害・通勤災害を受けたとき、失業した場合、高齢者で賃金が低下しても働き続けている場合や育児休業中の場合に給付を受けることができます。また、事業主のみなさんには各種助成金の対象となる制度です。

＊労働保険の諸手続きについては、労働保険事務組合や社会保険労務士を利用することができます。

＊まだ、加入手続きをとられていない事業主のみなさんは、今すぐ加入手続きをしてください。

＊相談は、
名古屋東公共職業安定所
電話　〇五二―七二四―二二五
又は、
労働保険事務組合
愛知県板金工業組合
電話　〇五二―七三一―一三六

編集後記

巨人バッシング第二弾。先月この欄で「末期症状の長島スタッフ・選手に何かが起こりそうだ」と書いた。

案の定その二・三日後、審判の判定を不服とした外人投手事もあろうに、ボールを審判団に投げつける前代未聞の愚行をしでかした。これまでも度々乱行を重ねたこの外人投手にセ・リーグ連盟は「今期出場停止」の制裁処分を決め「狂乱にも近い暴挙に、スポーツマンシップを否定する暴挙と怒りを禁じ得ず、重大な制裁を科した」発表。

この処分に同僚選手は「処分が重すぎるとか、不断は静かないい男だが」とかばうが、ボールを凶器にするような粗野な性格の投手には当然の制裁である。またかばいだて発言の同僚選手には事の重大さが解らず、昔から〝巨人軍は紳士たれ〟の伝統が受け継がれていない。その後事件当日の球審に挑発する行為があったと質問状を出したり、コーチが暴力行為で退場させられたり「球界の盟主」も地に落ちたも同然の現状である。

八月二十六日㈬　晴
三三一号　編集会議
委員　十名　出席
午後五時終了　(s)